

## キルギスの高等教育機関における「優れた」日本語教師の行動特性 キルギス人日本語学習者への質問紙調査の分析から

西條 結人\*、ジュヌシャリエワ・アセーリ\*、  
ダウレトバエワ・ジャミリヤー\*、メデルベコワ・チョルボン\*

### 【要旨】

本研究では、高等教育機関のキルギス人日本語学習者が考える「優れた」日本語教師を明らかにした。調査では、教師の行動特性に着目し、先行研究と比較することで、キルギスの優れた日本語教師像を検証した。

調査の結果、高等教育機関のキルギス人日本語学習者は、「優れた」日本語教師像への評価として、評価の高い順に「1. 日本語教師の専門性」「2. 教師の人間性」「3. コース運営」「4. 授業の実践能力」「5. 指導経験と資格」という傾向が明らかとなった。このことより、キルギスの「優れた」日本語教師は、指導経験や資格、授業実践能力を備えた教師よりも、専門性に加え、教師としての人間性を備えた教師であることがうかがえる。ただし、キルギス人日本語学習者が求める優れた日本語教師の専門性というのは、日本語に関する専門性であり、国際問題や世界経済に関する幅広い知識はあまり重視しないという傾向が見られた。

【キーワード】 キルギス・高等教育機関・優れた日本語教師・教師の行動特性・日本語教師観

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 1. はじめに              | 3.2 考察           |
| 2. 調査概要：データ収集と分析の枠組み | 4. 本研究のまとめと今後の課題 |
| 2.1 研究課題の設定          | 4.1 本研究のまとめ      |
| 2.2 調査方法             | 4.2 日本語教育への示唆    |
| 2.3 分析の枠組み           | 4.3 今後の課題        |
| 3. 結果と考察             | 参考文献             |
| 3.1 調査結果             | 資料               |

### 1. はじめに

国際交流基金（2014）によると、キルギス共和国の日本語学習者数は、2012年度調査では777人に対し、2014年6月時点で1078人と増加傾向にある。学習者の内訳として、氏原（2015）は、2006年時点の日本語学習者数は、シュコーラ（初等中等教育機関）225人、高等教育機関712人であったが、2013年にはシュコーラ544人、高等教育機関312人と逆転したと報告している。しかしながら、日本語教育機関数では、高等教育での日本語教育機関数が、初等中等教育機関数を上回っており、依然として日本語教育の中心は高等教育機関であることがうかがえる。

\* ビシケク人文大学 (Bishkek Humanities University)

ヴォロビヨワ (2014) はキルギスの日本語教育の課題について次の4点を指摘している。

- ①日本語教師を育てる国内制度がない
- ②日本語教材が不足している
- ③設備不足で日本語教育環境が整っていない
- ④卒業生が日本語の知識を生かす仕事が非常に少ない

キルギスの教育事情全般の問題として、「教員養成」「教材不足」「教育学習環境の悪さ」が挙げられる。特に、①は深刻な問題であり、キルギス国内には初等中等機関の教員や大学教員の養成を担う教育大学や教育学部が国立機関に存在しない。日本語教員養成についても同様である。そのような国内の現状から言語知識や教授法の専門教育を受けずに日本語教師として就職し、手探りの状態で日本語を教えている教員も少なくない。国際交流基金の教師研修やキルギス日本語教師会の教授法研修、セミナー等で教授技術を学習する機会はあるものの、国内の交通機関の不便さや交通費等の問題からキルギス国内の教師全員が受講できるとは限らない。今後、キルギスで初等中等教育機関における日本語教育が普及するには、日本語教員養成や教師待遇、教師の定着率という課題から時間を要すると思われる。そのため、高等教育機関においては、学習者数が減少傾向にあるが、今後もキルギスでの日本語教育の中核は高等教育機関が担うことが推測される。また、④については、キルギス国内の失業率の高さから、正規採用が少なく、他の外国語を学習しても現状は日本語と同様であると思われる。

上述のようなキルギスの日本語教育を取り巻く現状において、今後、キルギス国内での日本語教育を発展、促進するためには、教員養成が課題となってくるであろう。そのためにも、キルギス人日本語学習者の日本語教師観を明らかにし、「優れた」日本語教師像を検討する必要があると思われる。

本研究では、キルギス国内の高等教育機関における「優れた」日本語教師の行動特性について調査結果を報告し、考察する。キルギス国内での「優れた」日本語教師像を明らかにすることは、日本語教員養成の改善につながり、キルギス国内の高等教育機関における日本語教師が備えておくべき能力を示すデータにもなりうると思われる。また、これまでキルギスの日本語教師を輩出してきた大学においても、日本語教員養成のためのカリキュラムを開発する際の参考にもなると考える。

海外における「優れた」日本語教師の行動特性に関する研究には、縫部他(2006)、渡部他(2006)、顔他(2007)、佐藤他(2007)、古別府(2009)等がある。縫部他(2006)ではMoskowitz(1976)を参考にして作成した41項目からなる質問紙を用いて、ニュージーランド、タイ、韓国、中国、ベトナム、台湾の大学生1441人のデータを分析している。その結果、どの対象国においても、優れた日本語教師を同様の枠組みで認識していることがうかがわれ、その構造は「日本語教師の専門性」「指導経験と資格」「教師の人間性」「コース運営」「授業の実践能力」の5因子から成る「日本語教師の行動特性を構成する概念」が明らかとなったと述べている。渡部他(2006)

では、Moskowitz (1976) を参考にして作成した 37 項目からなる質問紙を用いて、ニュージーランドの大学生 188 人と高校生 211 人から回答を得た。その結果、ニュージーランドの優れた日本語教師とは、「授業の実践能力」「専門的知識と教養」「教室の雰囲気作り」「学習者への配慮と教職意識」「指導経験と資格」「日本語力と文化的知識」を備えた教師であることが明らかになった。また、学習者の学習年数によって、教師に求める能力が異なることが示唆された。顔他 (2007) は Moskowitz (1976) を参考にして作成した 41 項目からなる質問紙を用いて、台湾の各大学の大学生 633 人から回答を得た。台湾の優れた日本語教師像は「学習者への配慮」「専門家としての教職歴」「日本語教師の専門性」「インターアクションへの配慮」を備えた教師であることが明らかになった。佐藤他 (2007) では、顔他 (2007) と同様の質問紙を用いて、タイ、ベトナム、中国、韓国、台湾の大学生 1012 人から回答を得た。アジア 5 カ国で共通する優れた日本語教師像は、「授業実践能力」「教室の雰囲気作り」「学習者との関わり方」「日本文化の知識」を備えた教師であることを報告している。また、その教師像はアジア地域の学習者視点から見たコアとなる概念であるということを示唆している。古別府 (2009) では、顔他 (2007)、佐藤他 (2007) と同様の質問紙を用いて、タイの高校日本語教師、バンコク日本文化センター、タイ国元留学生協会の教師研修参加者、日本語教育研究会参加者 121 人 (男性: 22 人、女性: 99 人) を対象に質問紙調査を行った。タイの中等教育機関で優れた教師は、「専門性と指導経験」「強い教職意識と思いやり」「授業における実践能力」「外国語学習の経験と学位」を備えた教師であることが明らかになった。

先行研究では、それぞれの研究で扱っている因子が異なっているため、得られた知見が比較しにくいものになっている。そのため、本研究においては、共通の枠組みを用いて、他国との比較を行う必要があることが明らかとなった。

## 2. 調査概要: データ収集と分析の枠組み

### 2.1 研究課題の設定

本研究の目的は、次の 3 点である。第一は、キルギス国内の高等教育機関に所属する学習者が「教師の行動特性」として何を重視しているかを明らかにすることである。第二に、先行研究の知見と対照することにより「優れたキルギス人日本語教師」の傾向を明らかにすることである。第三は、キルギスにおける日本語教育および日本語教員養成への示唆を得ることにある。

以上の研究目的を達成するため、以下のような研究課題を設定した。

・高等教育機関に所属するキルギス人日本語学習者は「優れた」日本語教師像に対して、教師のどのような能力を高く評価する傾向があるのか。

### 2.2 調査方法

調査は、ビシケク人文大学、キルギス国立総合大学、キルギス・ロシア・スラブ大学に所属しているキルギス人日本語学習者へ調査協力依頼を行い、2016 年 4 月に実施した。なお、本研

究におけるキルギス人日本語学習者とは、「キルギス国籍で、キルギス国内の高等教育機関にて日本語を学習している者」と定義する。

調査用紙は、日本語教師の行動特性に関する先行研究（縫部他：2006, 顔他：2007, 佐藤他：2007, 古別府：2009）で用いられた質問項目と同様のものを使用する。本研究では、先行研究で用いられた日本語版から、回答者の母語であるキルギス語とロシア語に翻訳した調査用紙を作成した。キルギス国内の言語事情に配慮し、キルギス語とロシア語を併記することにした。なお、キルギス語・ロシア語版を作成するにあたり、翻訳の適格性を確かめるため、日本語からキルギス語・ロシア語に翻訳し、日本語からキルギス語・ロシア語に翻訳するバックトランスレーションを行った。実際に使用した質問項目については、本稿末尾の資料1を参照されたい。

回答者には、「優れた」日本語教師が備えておくべき資質・能力を4件法（1＝全く当てはまらない～4＝非常に当てはまる）で評価するという手法を用いた。調査用紙とともに、フェイスシートに「性別」「国籍」「母語」「日本語能力」「日本語学習歴」「日本滞在経験の有無」「日本滞在期間」の記入を求めた。調査は、ビシケク人文大学所属の学習者については筆者らが調査を実施し、他の教育機関に所属する学習者については、当該機関に所属している日本語教師に調査を依頼した。

以上の手順で行った結果、各機関に所属する67人から回答を得た。回答者の性別は、男性15人、女性52人で、ロシア語を母語とする者13人、キルギス語を母語とする者50人、ロシア語とキルギス語の両言語を母語とする者4人であった。なお、本研究における「母語」とは、「回答者が回答者の家庭で使用している言語」とする。

### 2.3 分析の枠組み

本研究では、縫部他（2006）の「優れた」日本語教師の行動特性を構成する概念」に着目して、キルギスの高等教育機関における日本語学習者の優れた日本語教師の行動特性の傾向を分析した。

縫部他（2006）の「優れた」日本語教師の行動特性を構成する概念は本稿末尾の資料2の通りである。縫部他（2006）では、「優れた」日本語教師の行動特性を5つの因子に分類している。第1因子は「日本語教師として十分な訓練を受けている」「教えることに熱心である」「標準的な日本語を話すことができる」「プロとしての自覚を持っている」「楽しんで教えている」「日本語を1つの言語として客観的に分析することができる」「必要なら教科書に出ていないことも教える」「外国語としての日本語教授法に熟達している」「学習者がわからないとき、わかりやすく説明する」「日本語を正確に、かつ流暢に使うことができる」の10項目から構成され、「日本語教師の専門性」と命名されている。第2因子は「指導経験が長い」「日本語教育に関する資格を持っている」「日本語の古典に関する十分な知識がある」「修士号（またはそれ以上の学位）を持っている」「以前に外国語学習の経験がある」から成り、「指導経験と資格」と命名されている。第3因子は「自分、他者、人生について楽観的である」「明るく、ユーモアがある」「暖かく、やさしく、思いやりがある」「授業を面白く、楽しくする」の4項目から成り、「教師の人間性」と

されている。第4因子は「多様な教授法、教材、視聴覚教具を用いる」「日本語以外のことも相談に乗ってくれる」「教室を和やかで、くつろいだ雰囲気にする」「学習者のニーズに対応したコース設計をすることができる」の4項目から構成され、「コース運営」と命名されている。第5因子は、「学習者からの提案や考えを取り上げる」「勤勉である」「学習者の質問に喜んで答え、また質問に答えられる」「学習者を褒めたり、励ましたりする」「授業がきちんと構成されている」「大きな忍耐力がある」「教室内において学習者に規律を守らせる」の7項目から構成され、「授業の実践能力」とラベリングされている。縫部他(2006)の分析の枠組みを用いる理由としては、5カ国の高等教育機関に所属する日本語学習者を調査対象としていること、及び比較可能なデータが記載されていることによる。そして、縫部他(2006)で述べられている通り、5因子解が最もよいモデルであると判断し、今回キルギスのみで因子分析を行うことは収集したデータ数の問題から難しいため、5因子を用いることとした。縫部他(2006)では、6つの国と地域の18大学を分析の対象にしているが、どの対象国においても優れた日本語教師を同様の枠組みで認識していることが示唆されており、本研究においても同様の枠組みを用いた。本研究では、縫部他(2006)の調査結果との比較により、キルギスの高等教育機関における学習者視点からの優れた日本語教師像を明らかにした。

### 3. 結果と考察

#### 3.1 調査結果

調査の結果、キルギスの高等教育機関のキルギス人日本語学習者が考える優れた日本語教師像は本稿末尾の資料3の通りであった。

資料3の各項目の平均より、平均値の高い上位5項目は、「1. 学習者がわからないとき、わかりやすく説明する (3.761194)」「1(2). 日本語を正確に、かつ流暢に使うことができる (3.761194)」「2. 日本語教師として十分な訓練を受けている (3.746262)」「3. 必要なら教科書に出ていないことも教える (3.716417)」「4(1). 楽しんで教えている (3.641791)」「4(2). 学習者に日本語で話すことを促す (3.641)」「5. 外国語としての日本語教授法に熟達している (3.597014)」であった。逆に平均値の低い順に挙げると、「1. 世界経済・国際問題について幅広い知識がある (3.059701)」「2(1). プロとしての自覚を持っている (3.074626)」「2(2). 学習者の感情を受け入れる (3.074626)」「3. 以前に外国語の経験がある (3.089552)」「4(1). 修士号(またはそれ以上の学位)を持っている (3.134328)」「4(2). 教室内において学習者に規律を守らせる (3.134328)」「5. 日本語以外のことも相談に乗ってくれる (3.164)」となった。

また、縫部他(2006)の調査結果と比較すると、各因子の平均は次の表1の通りであった。国別の各因子の順位は表2の通りである。

表1 各因子の平均値

	I	II	III	IV	V
キルギス	3.55	3.19	3.41	3.37	3.32
ニュージーランド	3.47	2.09	3.34	3.15	3.38
タイ	3.68	3.17	3.64	3.49	3.57
ベトナム	3.39	2.61	3.13	3.17	3.14
韓国	3.53	2.90	3.35	3.12	3.32
中国	3.63	2.90	3.54	3.34	3.36
台湾	3.55	2.92	3.38	3.28	3.38
全体平均	3.54	2.82	3.39	3.27	3.35

表2 国別因子平均の順位

	全体	キルギス	ニュージーランド	タイ	ベトナム	韓国	中国	台湾
第1位	I.日本語教師の専門性							
第2位	V.授業の 実践能力	III.教師の 人間性	V.授業の実践能力	III.教師の 人間性	IV.コース 運営	III.教師の 人間性	III.教師の 人間性	V.授業の 実践能力
第3位	III.教師の 人間性	IV.コース 運営	III.教師の人間性	V.授業の 実践能力	V.授業の 実践能力	V.授業の 実践能力	V.授業の 実践能力	IV.コース 運営
第4位	IV.コース 運営	V.授業の 実践能力	IV.コース運営	IV.コース 運営	III.教師の 人間性	IV.コース 運営	IV.コース 運営	III.教師の 人間性
第5位	II.指導経験と資格							

表1及び表2から、縫部他(2006)の「優れた日本語教師の考え方が国ごとに異なる」という知見を支持する結果が得られた。すべての国に共通して高く評価された因子は「I.日本語教師の専門性」であった。逆に最も低く評価された因子は「II.指導経験と資格」ということが明らかになった。キルギスについては、今回比較対象となった他の6カ国の行動特性に当てはまらないという結果が得られ、キルギス特有の「優れた」日本語教師像が示唆された。特に、キルギスにおいては「授業の実践能力」が全体に比べて低いという可能性がある。キルギスの高等教育機関における「優れた」日本語教師像への評価としては、評価の高い順に「1.日本語教師の専門性」「2.教師の人間性」「3.コース運営」「4.授業の実践能力」「5.指導経験と資格」であった。

### 3.2 考察

調査の結果、学習者の視点からキルギスの高等教育機関における「優れた」日本語教師像の行動特性の重視している順位「1.日本語教師の専門性」「2.教師の人間性」「3.コース運営」「4.授業の実践能力」「5.指導経験と資格」を提示できた。これらは学習者から見る「優れた」

日本語教師の評価の観点でもあると言えるであろう。

第1因子「日本語教師の専門性」については、特に「学習者がわからないとき、わかりやすく説明する」「日本語を正確に、かつ流暢に使うことができる」という項目の平均が高く、一方で「プロとしての自覚を持っている」という項目への評価が低かった。このことより、教師の専門性に対する日本語学習者のニーズとして、教師としての強い自覚よりも、教師の日本語教授能力や日本語運用能力を重視していることがうかがえる。国際交流基金(2014)によると、キルギスには、日本への留学を希望している学習者が数多く存在するようである。そのため、文部科学省日本語日本文化研修留学生プログラムや、大学間協定に基づく交換留学などの留学試験に対応できる日本語運用能力、専門性を求めているということも考えられる。第2因子「指導経験と資格」については、教師の外国語学習経験や取得学位についてはあまり評価していないようである。キルギスの大学教員資格は、1991年のソビエト連邦からの独立以来、専門学士課程(5年制課程)卒業以上となっているが、徐々に修士課程修了以上に切り替わっている。しかしながら、今回の知見から、修士の学位取得は、必ずしも学習者から見た優れた日本語教師の条件とは合致しないようである。キルギスにおいては、近年導入された学位であり、従来は旧ソ連の「専門学士号」が「修士号」に相当するものであった。そのため、国内であまり認知されていないという関係している可能性も否めない。第3因子「教師の人間性」については、「明るくユーモアがある」「授業を面白く、楽しくする」が他の項目に比べ、相対的に高かった。教師の専門性も求めながらも、楽しく外国語学習に取り組みたいという学習者の外国学習への姿勢や、明るい性格の日本語教師を求めていることがうかがえる。第4因子「コース運営」では、「多様な教授法、教材、視聴覚教具を用いる」という項目が高い評価であった。教室活動の手段や方法に精通している教師を優れた日本語教師として判断する傾向があるようである。第5因子「授業実践の能力」については、「学習者の質問に喜んで答え、また質問に答えられる」が最も高く、学習者の疑問に適切に答えられることが求められている。一方で、「教室内において規律を守らせる」という項目は、全体の平均値の低い順でも4位と低く、教室内における規律を守らせる能力はキルギス人日本語学習者にとって重要な要素ではないという結果が得られた。この結果には、年長者がいる場面や公的な場面の状況において、いわゆる従順性を示すことが求められ、それが社会における規範として認識されていることが関係している可能性がある。

また、上述の第1から第4因子に該当しない項目では、全41項目の中で「世界経済・国際問題について幅広い知識がある」が最も低く、「日本語以外のことも相談に乗ってくれる」という項目も評価が低いことから、学習者から見た優れた日本語教師は、日本語への高い専門性を持つ日本語教師であることが推測される。

以上のことから、学習者から見たキルギスの高等教育機関における優れた日本語教師は、「日本語教師として十分な訓練を積み、日本語への専門性や日本語運用能力が高く、学習者の理解に配慮することができる教師」であることが明らかになった。

#### 4. 本研究のまとめと今後の課題

#### 4.1 本研究のまとめ

2. 1節で掲げた研究目的に基づき、質問紙調査によって得られた知見をまとめる。

・高等教育機関に所属するキルギス人日本語学習者は「優れた」日本語教師像に対して、教師のどのような能力を高く評価する傾向があるのか。

高等教育機関のキルギス人日本語学習者は、「優れた」日本語教師像への評価としては、評価の高い順に「1. 日本語教師の専門性」「2. 教師の人間性」「3. コース運営」「4. 授業の実践能力」「5. 指導経験と資格」という傾向が明らかとなった。このことより、キルギスの「優れた」日本語教師は、指導経験や資格、授業実践能力を備えた教師よりも、専門性に加え、教師としての人間性を備えた教師であることがうかがえる。ただし、キルギス人日本語学習者が求める「日本語教師の専門性」というのは、日本語への専門性であり、国際問題や世界経済に関する幅広い知識はあまり重視しないということが示唆された。

#### 4.2 日本語教育への示唆

本研究で得られた知見は、ヴォロビヨワ（2014）が指摘するキルギスの日本語教育の課題であるキルギスにおける日本語教員養成への一助になるものであると考える。特に、国内に日本語教員養成課程を設置した大学・学科が未だに存在しないキルギスにとっては、今後日本語教員養成課程設置に向けて、もしくは、それに相当するカリキュラムを検討する際に非常に有効な基礎的資料になりうると思われる。また、キルギス共和国日本語教師会等の団体が開催している日本語教育セミナー等、日本語教師の自己研鑽や授業改善を目的とした教師教育の場における有益な情報になると考える。ただし、本研究で得られた知見は、学習者の視点から見た「優れた」日本語教師像であるということと、抽出された「優れた」日本語教師像が、ノンネイティブ日本語教師であるのか、ネイティブ日本語教師であるのかという点においては明らかではない。

#### 4.3 今後の課題

本研究では、キルギスの高等教育機関における日本語教師の行動特性を「行動特性を構成する概念」に着目してその特徴を明らかにしようと試みた。しかし、本研究で得られた知見が、キルギス人日本語学習者が「外国語教師に求める行動特性」なのか、もしくは「日本語教師特有の行動特性」なのかは明らかにできなかった。また、因子分析に必要なデータを収集し、キルギスのみで因子分析を行い、検証する必要がある。今回、フェイスシートで求めた日本語学習者の背景の分析は行わなかった。しかし、先行研究でも学習者の「学習歴」や「日本語能力」によって教師に求めるものが変化することが指摘されていることから、今後のキルギスの日本語教員養成へつなげるためにも、さらに分析を行う必要がある。今後、他の外国語を学習している学習者に対しても、同様の調査を行い、優れた外国語教師像と優れた日本語教師像との詳細な検討が必要であろう。また、初等中等教育機関においても同様の調査を行い、初等中等教育機関の日本語学



習者が求める日本語教師の行動特性と本研究の知見を比較し、よりキルギスにおける日本語教師の行動特性を明らかにする必要がある。下村 (1989) において、学習者視点からの「優れた」教師、教師視点からの「優れた」教師には差があることが指摘されていることから、日本語教師も同様の差異があることが推測される。キルギスの日本語教師が考える「優れた」日本語教師像も明らかにし、学習者と教師間で差異があるかどうかを調査し、本研究との知見を比較する必要があると思われる。キルギス国内の高等教育機関の日本語教育カリキュラムの現状を把握し、日本語教員養成との関わりも検証することが重要であると思われる。また、キルギスのみならず、旧ソビエト連邦圏の他の中央アジア諸国の日本語教師の行動特性は異なるかどうか、今回得られた知見との差異を明らかにする必要がある。

今後は、「優れた」日本語教師の行動特性に関するデータ収集をより多く行い、本研究で得られた知見がどこまで一般化できるのか、さらなる検証が必要である。上述の点を発展させることができれば、キルギスだけではなく、世界の日本語教育への示唆が得られ、日本語教員養成に関してより効果的な成果が得られると思われる。

#### 【参考文献】

- 古別府ひづる (2009) 「タイ中等教育機関の日本語教師が求める日本語教師の行動特性-探索的因子分析より-」『日本教科教育学会誌』 32(1), pp.21-30
- 顔幸月・渡辺倫子・小林明子・縫部義憲 (2007) 「台湾の大学生が求める日本語教師の行動特性-日本語専攻の場合-」『日本語教育』 133, pp.67-76
- 国際交流基金 (2014) 「日本語教育 国・地域別情報 キルギス」  
(<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2014/kyrgyz.html>: 2016年3月25日アクセス)
- Moskowitz, G. (1976) Competency-based teacher education before we proceed. *Modern Language Journal*. Vol.60, 1-2, 18-23
- 縫部義憲・渡部倫子・佐藤礼子・小林明子・家根橋伸子・顔幸月 (2006) 「学習者が求める日本語教師の行動特性の構成概念」『日本語教員養成における実践能力の育成と教育実習の理念に関する調査研究 平成16年度～平成17年度科学研究費補助金基盤研究(B) 研究成果報告書』 (研究代表: 中川良雄、課題番号 136320068) 94-105
- 縫部義憲・古別府ひづる・顔幸月・渡部倫子・佐藤礼子・小林明子 (2009) 「学校日本語教育における日本語教師が考える教師像-アジアとオセアニア地域を対象に-」『「求められる日本語教員に日本語教員養成課程はどう応えるか」に関する総合的研究』 (研究代表: 中川良雄、課題番号: 18320084) 58-81
- 佐藤礼子・渡辺倫子 (2007) 「アジア5カ国・地域の学習者が求める日本語教師の行動特性-学習年数による相違-」『留学生教育』 12, 1-7
- 下村哲夫 (1989) 「教師の身分と資質」『講座 教師の力量形成: 教師の資質・力量』, 186-226, ぎょうせい

- 氏原名美 (2015) 「キルギス共和国日本語教育事情 頭脳流失-日本語教師のジレンマ」『日本語教育から見た国際関係報告書 2014』, 国士館大学
- ヴォロビヨワ・ガリーナ (2014) 「構造分解とコード化を利用した計量的分析に基づく漢字学習の体系化と効率化」政策研究大学院大学博士論文
- 渡部倫子・佐藤礼子・狩野不二夫・縫部義憲 (2006) 「日本語学習者が求める日本語教師の行動特性-ニュージーランドの高校生と大学生を対象として-」『教科教育学会誌』 29(1), 59-68

【資料】

資料 1 質問項目 (キルギス語・ロシア語併記)

1. Өзү жана башкалар жөнүндө, ошондой эле жашоо тууралуу оптимистүү көз карашта болгон?  
Оптимистичен к себе, к другим, к жизни.
2. Жапон тил мугалим катары жетиштүү билимге ээ болуш керек?  
Хорошо подготовлен как преподаватель японского языка.
3. Сабакты берилип түшүндүрүү керек?  
Работает с рвением.
4. Жапон тилинде жетиштүү деңгээлде сүйлөй алыш керек?  
Говорит на стандартном японском языке.
5. Шайыр мүнөз жана тамашөкөй?  
Добродушен и с чувством юмора.
6. Өзүн профессионал деп эсептеген мугалим?  
Осознает себя профессионалом.
7. Ар түрдүү маданиятка жана тилге чыдамкайлык менен мамиле кылган?  
Терпим по отношению к другой культуре.
8. Дүйнөлүк экономикага жана эл аралык маселелер боюнча билими кеңири болуш керек?  
Обладает широкими знаниями о мировой экономике, современных политических проблемах.
9. Кызыгуу менен сабак өтүү?  
Преподает с удовольствием.
10. Жапон тилин чет тили катары калыс талдай алган?  
Может дать объективный анализ одному японскому языку.
11. Керек учурда китепте жок нерсени да түшүндүрө алган?  
Если это требуется, то может объяснить что-то вне учебника.
12. Чет тил катары жапон тилинин үйрөтүү методикасын мыкты өздөштүрө алган?  
Обладает хорошими знаниями о методике преподавания японского языка, как

иностранныго.

13. Окуучулар билбей калган учурда жөнөкөй сөз менен түшүндүрө алган?  
В случае, если ученики не понимают, то может подобрать более легкие пути объяснения.
14. Окуучулардын сунуштарын жана ой – пикирлерин туура кабыл алган?  
Всегда рад идеям и предложениям со стороны учеников.
15. Күжүрмөн эмгектенген?  
Трудолюбив.
16. Окуучулардын суроолоруна кубануу менен жооп бере ала алган?  
Может с удовольствием ответить на интересующие вопросы учеников, и сам может им задать вопросы.
17. Тил илиминин негиздерин жакшы билген?  
Есть базовые знания о лингвистике и языкознании.
18. Окуучуларды мактап, күч – дем бере алган?  
Хвалит и поддерживает своих учеников.
19. Сабактын жүрүшүн так жана туура түзүп, түшүндүрө алган?  
Структура урока четко построена.
20. Окуучулардын жөндөмүнө жараша сабак өтө алган?  
Уроки соответствуют знаниям учеников.
21. Мээримдүү, боорукер?  
Приветлив, добр и сочувственен.
22. Окуучулардын жапон тилинде сүйлөөсүнө түрткү болуш керек?  
Способствует говорить учеников на японском языке.
23. Ар түрдүү окуу-методиканы, окуу материалдары, аудио-көрсөтмө окуу куралдарын пайдаланган?  
Обладает большим и разнообразным материалом по методике преподавания, аудированию, учебных пособий.
24. Окуудан сырткары кеп – кеңешин бере алган?  
Может дать советы по вопросам, не относящимся к японскому языку.
25. Кыргызча, орусча түшүндүрө алган?  
Может объяснить, используя посреднический (родной язык).
26. Окутуу тажрыйбасы көп?  
Большой опыт преподавания.
27. Жапон маданияты, тарыхы, каада-салты тууралуу билими терең?  
Обладает достаточно хорошими знаниями о японской культуре, истории, традициях.
28. Сабырдуу ?

Очень терпелив.

29. Окуучулардын каталарын ондой алган?  
Можете правильно исправить ошибку ученика.
30. Жапон тилинин деңгээлин тастыктаган сертификатка ээ болгон?  
Есть соответствующая квалификация в преподавании японского языка.
31. Кызыктырып сабак өтүү?  
Уроки интересны и веселы.
32. Тесттерди кылдаттык жана чеберчилик менен түзүп, аны туура баамдай алган?  
В соответствии с целями обучения, может сам составить тест, выявляющий степень умений, достижений ваших учеников и подвести статистический анализ.
33. Жапон тилинде туура жана эркин сүйлөй алган?  
Может правильно и свободно говорить по-японски.
34. Окуучулардын катасын ондоодо туура ыкмаларды колдонуу?  
Если ученик ошибся, не смущает и не стыдит его.
35. Адабий жапон тили боюнча жетиштүү билими болуш керек?  
Обладает довольно хорошими знаниями в области классической литературы японского языка.
36. Магистр илимий же андан башка даражага ээ болгон?  
Есть магистерская степень (или другая).
37. Окуучуларга эркин жана мээримдүү чөйрөнү түзүп берүү?  
На его уроках царит теплая и дружеская атмосфера.
38. Окуучулардын муктаждыктарына жараша окуу куралдарын менен камсыздоо?  
Может выстроить курс в соответствии нуждам (потребностям) своих учеников.
39. Мурунтан эле чет тилин окутуу тажрыйбасына ээ болгон ?  
Изучал другой иностранный язык.
40. Окуучулардын ой-сезимдерин түшүнө билуу ?  
Может выслушать чувства и эмоции ученика.
41. Окуу бөлмөсүндө эрежелердин сакталышын ишке ашыруу?  
Заставляет учеников соблюдать правила в аудитории (классе).

資料2 「優れた」日本語教師の行動特性を構成する概念

I.日本語教師の専門性	Q2.日本語教師として十分な訓練を受けている。
	Q3.教えることに熱心である。
	Q4.標準的な日本語を話すことができる。
	Q6.プロとしての自覚を持っている。
	Q9.楽しんで教えている。
	Q10.日本語を1つの言語として客観的に分析することができる。
	Q11.必要なら教科書に出ていないことも教える。
	Q12.外国語としての日本語教授法に熟達している。
	Q13.学習者がわからないとき、わかりやすく説明する。
	Q33.日本語を正確に、かつ流暢に使うことができる。
II.指導経験と資格	Q26.指導経験が長い。
	Q30.日本語教育に関する資格を持っている。
	Q35.日本語の古典に関する十分な知識がある。
	Q36.修士号（またはそれ以上の学位）を持っている。
	Q39.以前に外国語学習の経験がある。
III.教師の人間性	Q1.自分、他者、人生について楽観的である。
	Q5.明るく、ユーモアがある。
	Q21.暖かく、やさしく、思いやりがある。
	Q31.授業を面白く、楽しくする。
IV.コース運営	Q23.多様な教授法、教材、視聴覚教具を用いる。
	Q24.日本語以外のことも相談に乗ってくれる。
	Q37.教室を和やかで、くつろいだ雰囲気にする。
	Q38.学習者のニーズに対応したコース設計をすることができる。
V.授業の実践能力	Q14.学習者からの提案や考えを取り上げる。
	Q15.勤勉である。
	Q16.学習者の質問に喜んで答え、また質問に答えられる。
	Q18.学習者を褒めたり、励ましたりする。
	Q19.授業がきちんと構成されている。
	Q28.大きな忍耐力がある。
	Q41.教室内において学習者に規律を守らせる。

(縫部 (2006) 図1を質問項目番号順に、筆者らが再構成)

資料3 キルギスの高等教育機関における「優れた」日本語教師の行動特性の平均値・標準偏差

	平均値	標準偏差
Q1.自分、他者、人生について楽観的である。	3.179104	0.69
Q2.日本語教師として十分な訓練を受けている。	3.746262	0.47
Q3.教えることに熱心である。	3.492537	0.56
Q4.標準的な日本語を話すことができる。	3.477611	0.58
Q5.明るく、ユーモアがある。	3.537313	0.53
Q6.プロとしての自覚を持っている。	3.074626	0.72
Q7.異なる言語や文化に対する寛容性がある。	3.373134	0.71
Q8.世界経済・国際問題について幅広い知識がある。	3.059701	0.69
Q9.楽しんで教えている。	3.641791	0.51
Q10.日本語を1つの言語として客観的に分析することができる。	3.328335	0.61
Q11.必要なら教科書に出ていないことも教える。	3.716417	0.45
Q12.外国語としての日本語教授法に熟達している。	3.597014	0.52
Q13.学習者がわからないとき、わかりやすく説明する。	3.761194	0.46
Q14.学習者からの提案や考えを取り上げる。	3.343283	0.66
Q15.勤勉である。	3.402985	0.57
Q16.学習者の質問に喜んで答え、また質問に答えられる。	3.537313	0.53
Q17.言語学の基本的な知識がある。	3.432835	0.6
Q18.学習者を褒めたり、励ましたりする。	3.328358	0.53
Q19.授業がきちんと構成されている。	3.358208	0.68
Q20.学習者の能力に合わせて授業を進める。	3.238805	0.65
Q21.暖かく、やさしく、思いやりがある。	3.373134	0.75
Q22.学習者に日本語で話すことを促す。	3.641791	0.54
Q23.多様な教授法、教材、視聴覚教具を用いる。	3.552238	0.55
Q24.日本語以外のことも相談に乗ってくれる。	3.164179	0.68
Q25.学習者の母語（または媒介語）で説明することができる。	3.328358	0.61
Q26.指導経験が長い。	3.238805	0.67
Q27.日本の文化・習慣・歴史について幅広い知識がある。	3.552238	0.53
Q28.大きな忍耐力がある。	3.22388	0.83
Q29.学習者の間違いを適切に訂正することができる。	3.358208	0.57
Q30.日本語教育に関する資格を持っている。	3.343283	0.51
Q31.授業を面白く、楽しくする。	3.567164	0.63

Q32.達成度、熟達度など、目的に応じてテストが作成でき、その結果を統計的に解釈することができる。	3.507462	0.25
Q33.日本語を正確に、かつ流暢に使うことができる。	3.761194	0.43
Q34.学習者が間違っても気まずい思いをさせたり、ばかにしたりしない。	3.343283	0.82
Q35.日本語の古典に関する十分な知識がある。	3.179104	0.57
Q36.修士号（またはそれ以上の学位）を持っている。	3.134328	0.64
Q37.教室を和やかで、くつろいだ雰囲気にする。	3.477611	0.63
Q38.学習者のニーズに対応したコース設計をすることができる。	3.313432	0.55
Q39.以前に外国語学習の経験がある。	3.089552	0.66
Q40.学習者の感情を受け入れる。	3.074626	0.87
Q41.教室内において学習者に規律を守らせる。	3.134328	0.69

西條 結人 (さいじょう・ゆうと)

【主な教授活動の場】

キルギス・国立高等教育機関 2015.10～現在に至る

ジュヌシャリエワ・アセーリ

【主な教授活動の場】

キルギス・国立高等教育機関 2009.09～現在に至る

ダウレットバエワ・ジャミリヤー

【主な教授活動の場】

キルギス・国立高等教育機関 2014.09～現在に至る

メデルベコワ・チョルボン

【主な教授活動の場】

キルギス・国立高等教育機関 2014.09～現在に至る